

平成29年度 リスクマネジメント研修A・Bコース実施要項 「事故発生メカニズムを理解する」

1 目 的	福祉施設や事業所等で起きる事故には、発生のメカニズムがあります。このメカニズムを理解しないまま対策を講じようとするれば「しっかり注意する」「今後は気をつける」「見守りを強化する」といった曖昧な対策になってしまうため、何度も同じような事故が起きてしまいます。 そこで、施設の特性を考えた事故発生のメカニズムを習得した上でリスクアセスメント方法を学び、有効な対策を考える知識と技術を修得することを目的として、本研修を開催いたします。
2 期 日	Aコース： 平成29年6月13日（火）（高齢者・障害者分野対象） Bコース： 平成29年6月14日（水）（保育・児童分野対象）
3 場 所	A・Bコース： 茨城県総合福祉会館4階 大研修室 水戸市千波町1918
4 対 象 者	社会福祉施設・社会福祉協議会・保育所等に勤務する指導的業務を行う者。 <u>【定員90名】各コース、事業所1名ずつとし、先着順とします。</u>
5 研修日程	別添、研修日程のとおり。
6 受講料	<u>1人 2,500円</u>（当日、受付にてお支払いください。）
7 申込方法	別紙受講申込書に必要事項を記載し、FAXにより、下記まで送付してください。 ※定員により次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。（申込書到着順） <u>※受講できない方のみ、本会より電話でお伝えいたします。</u> <u>※FAX到着確認の電話は不要ですが、不達の場合は研修受講ができませんので予めご了承ください。</u>
8 申込期限	<u>5月10日（水）～6月5日（月）まで【必着】</u> <u>（本会会員の事業所は、4/19（水）以前でも申込み可とします。）</u>
9 そ の 他	① 受講申し込み後、欠席または申し込み事項に変更がある場合は、速やかに茨城県社会福祉協議会福祉人材・研修部にご連絡ください。<u>無断欠席の場合は、「受講料」を請求することがありますので、予めご了承ください。</u> ② 受講申込書に記載された個人情報は、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。なお、本研修の受講者名簿に、氏名・所属・職名を掲載いたしますので、ご了承下さい。 ③ 駐車場の収容台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。 ④ 天候等の理由により、研修室の安全が確認できない場合は、中止することもありますのでご了承ください。受講当日の時間の変更等は、本会ホームページに掲載します。⇒「茨城県社会福祉協議会平成29年度社会福祉従事者研修」で検索してください。 ⑤ 服装は、研修を受講するにふさわしい服装でお越しください。（ジャージ、サンダル等不可）。また、体温調節ができるものをご着用下さい。 <u>⑥ 昼食は、各自ご持参ください。</u> ⑦ 研修中、配慮が必要な方は、事前に下記までご連絡ください。
10 問い合わせ・参加申込先	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部（平間・萩原） 〒310-8586 水戸市千波町1918 TEL 029-244-3755 FAX 029-244-3210

-高齢者・障害者分野 研修日程-

6月13日（火）Aコース（高齢者・障害者分野）

日 時	研修科目および講師名	ねらい
9:15～ 9:45	受 付	
9:45～10:00	開講／オリエンテーション	
10:00～12:00	【講義・演習】 「仕組みで管理すべき現場のリスク」 リスクマネジメントの基礎 ・基本的な考え方（福祉現場におけるリスクとは） ・リスクマネジメントプロセス ・ヒヤリハットおよび事故報告書の書き方と活用方法 ・職員が認識したリスクを共有する方法 ・事故発生メカニズム（転倒事故発生メカニズムを中心に解説） ・事故の要因分析とリスクアセスメント	事故の発生メカニズムを理解し、習得する。 リスクアセスメントの方法を学び、有効な対策を考えるポイントを習得する。
12:00～13:00	休憩・昼食	
13:00～16:00	【講義・演習】 -午前中の続き- ・実効性の高いリスクコミュニケーション ・リスク認識力向上のポイント ・ヒューマンエラーの特性（人はなぜミスをするのか） ・事象事例のミニ演習 ・危険予知トレーニング ・事故を防止するための仕組みづくり ・リスクに対応するための組織マネジメントの構造（氷山モデル）	

※研修日程は、研修の進行状況により変更する場合がございます。

講師プロフィール

（株）フォーサイトコンサルティング 代表取締役 浅野 まこと 睦氏（一般法人リスクマネジメント協会 理事）

リスクマネジメントを専門分野とするコンサルタント。福祉分野で発生する事故のメカニズムからリスクアセスメントの方法を理解することにより、個別の支援や保育に活用できる実践的な研修を行う。事故防止だけでなく、苦情対応、災害対策（BCP）、コンプライアンスなど、福祉分野のリスクに関するテーマを幅広くカバーする。

東京都福祉サービス第三者評価制度設計に関わり、現在も東京都福祉サービス第三者評価制度・経営ワーキング委員。平成27年度・東京都高齢者虐待防止事例分析検討委員会・検討委員。厚労省介護保険指導監督職員研修講師。東京都など各地の主任介護支援専門員研修や全国各地の社会福祉協議会等の研修において、主に「リスクマネジメント」を担当。

主な著書

『BCPの実効性を高める災害対応シミュレーション』（日本医療企画）など多数

『現場当事者が考えるべき68のリスク』共著（新井新報社）『変革期の介護ビジネス』共著（学陽書房）

『介護福祉経営士テキスト 実践編I-2（介護福祉コミュニケーション）』（日本医療企画）

『写真でわかる臨床看護技術』共著（インターメディカ）

—保育・児童分野 研修日程—

6月14日（水）Bコース（保育・児童分野）

日 時	研修科目および講師名	ねらい
9:15～ 9:45	受 付	
9:45～10:00	開講／オリエンテーション	
10:00～12:00	【講義】 「子ども主体のリスクマネジメント」 ・保育所等におけるリスクとは？ ・安全とは？ ・リスクマネジメントの考え方 ・リスクマップでリスクを認識する ・事故発生のメカニズム ・ヒヤリハット報告の活用法（書き方から報告の分析と活用まで） ・事例演習（ミニ演習） ・リスクを見る視点を養う ・リスクアセスメントの考え方 ・対策の効果を知るための手法 ・事故防止策はそう立てればよいか？	子どもたちの行動特性と事故発生のメカニズムを理解する。 リスクアセスメントの方法を学び、日々の活動の中で現場のリスク認識力向上をはかることができる力を習得する。
12:00～13:00	休憩・昼食	
13:00～16:00	【講義・演習】 —午前中の続き— ・事例演習（保育所等における事故事例を年齢別に演習） ・リスクの要因分析（子ども・保育者・環境の視点で分析） ・事故を防止するための対策 ・グループ発表と共有 ・事例演習の振り返り ・自園・自施設で改善するための計画づくり ・まとめ	

※研修日程は、研修の進行状況により変更する場合がございます。

講師プロフィール

（株）フォーサイトコンサルティング 代表取締役 浅野 まこと 氏（一般社団法人リスクマネジメント協会 理事）

リスクマネジメントを専門分野とするコンサルタント。福祉分野で発生する事故のメカニズムからリスクアセスメントの方法を理解することにより、個別の支援や保育に活用できる実践的な研修を行う。事故防止だけでなく、苦情対応、災害対策（BCP）、コンプライアンスなど、福祉分野のリスクに関するテーマを幅広くカバーする。

東京都福祉サービス第三者評価制度審判員に就任し、現在も東京都福祉サービス第三者評価制度・経営ワーキング委員、平成27年度・東京都高齢者虐待防止事例分析検討委員会・検討委員、厚労省介護保険指導監督職員研修講師、東京都など各地の主任介護支援専門員研修や全国各地の社会福祉協議会等の研修において、主に「リスクマネジメント」を担当。

主な著書

『BCPの実効性を高める災害対応シミュレーション』（日本医療企画）など多数

『現場担当者が考えるべき68のリスク』共著（新日本出版社）『変革期の介護ビジネス』共著（学陽書房）

『介護福祉経営士テキスト 実践編I-2（介護福祉コミュニケーション）』（日本医療企画）

『写真でわかる臨床看護技術』共著（インターメディカ）